



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト

コード番号 8798 URL <https://www.advancecreate.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (氏名) 村上 浩一 TEL 06-6204-1193

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 平成29年6月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	3,887	2.4	455	△29.1	452	△27.9	331	△11.8
28年9月期第2四半期	3,796	0.0	642	△14.6	627	△17.2	376	△14.1

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 317百万円 (△20.6%) 28年9月期第2四半期 399百万円 (△5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	31.17	—
28年9月期第2四半期	34.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	7,262	4,331	59.6
28年9月期	6,960	4,566	65.5

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 4,331百万円 28年9月期 4,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	22.50	—	25.00	47.50
29年9月期	—	22.50	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,910	8.4	1,030	7.9	1,000	7.9	600	2.9	56.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	10,999,100株	28年9月期	10,999,100株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	427,432株	28年9月期	280,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	10,640,814株	28年9月期2Q	10,797,553株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式数には、平成26年10月1日以降に契約を締結した「従業員持株会支援信託ESOP」制度に係る信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有する当社株式及び「株式給付信託（J-ESOP）」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社株式を含めております。ただし、平成26年9月30日以前に契約を締結した信託が所有する当社株式については期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式数には含めておりません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年10月1日～平成29年3月31日)におけるわが国経済は、企業業績の向上や雇用環境の改善により、一般的に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国新政権の政策動向および英国のEU離脱問題の影響、新興国経済の停滞や地政学リスクの高まりにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

保険業界におきましては、マイナス金利政策の影響による貯蓄性保険商品の販売停止や代理店手数料率の低下、改正保険業法に対応するための管理強化等により、厳しい営業環境が継続しております。

このような状況の下、当社グループは、保険流通改革のパイオニア企業として国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」を主軸とする「Web to Call to Real」の一気通貫型サービスにより、お客様のあらゆる保険ニーズに対応できるプラットフォーム戦略を推進してまいりました。

国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」は、保険情報のディストリビューターとしてさらなるお客様のユーザビリティ向上と、保険会社各社との連携強化のための進化を追求しております。

スマートフォン・タブレットを含めたあらゆるデバイスを通じた保険の比較・申込サービスを推進するために、きめ細かい施策を講じ、効果的なWebマーケティングによりコスト効率の向上を図りつつ、保険に対するニーズに着実にアプローチしております。

また、当社独自開発の顧客管理システムを活用したCRM戦略の一環として協業提携先とのネットワーク化を進め、万全の顧客管理と保全管理体制を構築しながら、全国の個人・法人の保険ニーズに対応しております。

さらに、ガバナンス体制およびコンプライアンス体制の充実や情報セキュリティ体制の強化を継続し、改正保険業法に対応した保険募集管理態勢の強化に全社的に取り組み、管理体制面においても積極的に経営資源を投下しております。

これらの取り組みの中、保険代理店事業におきましては、各種施策が奏功し、集客数が堅調に推移しております。なお、メディア事業におきましては、保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」の価値向上が広告メディア関連の収益に寄与し、再保険事業におきましては、再保険収入が引き続き順調に伸びました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,887百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は455百万円(前年同期比29.1%減)、経常利益は452百万円(前年同期比27.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は331百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,438百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は280百万円(前年同期比41.7%減)となりました。

メディア事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は432百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は107百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

再保険事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は336百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は66百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は301百万円増加し7,262百万円、負債は536百万円増加し2,930百万円、純資産は234百万円減少し4,331百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加124百万円であります。負債の増加の主な要因は、従業員持株会支援信託ESOP導入に伴う借入金の増加277百万円によるものであります。また、純資産の減少の主な要因は、従業員持株会支援信託ESOP導入に伴う自己株式の増加274百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ124百万円増加し、1,169百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、税金等調整前四半期純利益498百万円(前年同期は594百万円)、減価償却費211百万円(前年同期は145百万円)等により、640百万円の収入(前年同期は681百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、無形固定資産の取得による支出60百万円(前年同期は142百万円の支出)等により、57百万円の支出(前年同期は177百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得による支出289百万円(前年同期は349百万円の支出)、配当金の支払額273百万円(前年同期は246百万円の支出)等により、459百万円の支出(前年同期は786百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月2日付の「平成29年9月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,047,960	1,172,085
受取手形及び売掛金	866,621	868,430
未収入金	1,130,985	1,254,302
繰延税金資産	61,449	76,790
その他	341,553	471,151
流動資産合計	3,448,570	3,842,761
固定資産		
有形固定資産	643,658	582,897
無形固定資産		
ソフトウェア	676,649	618,889
その他	119,009	129,133
無形固定資産合計	795,659	748,022
投資その他の資産		
投資有価証券	351,274	311,393
差入保証金	599,966	598,920
保険積立金	893,135	893,135
繰延税金資産	133,647	142,962
その他	94,734	142,136
投資その他の資産合計	2,072,758	2,088,548
固定資産合計	3,512,075	3,419,468
繰延資産	303	—
資産合計	6,960,949	7,262,230
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	100,000	—
未払法人税等	97,236	199,365
賞与引当金	114,539	140,589
代理店手数料戻入引当金	2,783	4,236
店舗閉鎖損失引当金	—	5,916
資産除去債務	—	6,078
その他	1,355,109	1,616,542
流動負債合計	1,669,669	1,972,728
固定負債		
長期借入金	—	277,410
退職給付に係る負債	228,427	236,207
資産除去債務	181,371	175,486
その他	314,693	268,412
固定負債合計	724,491	957,516
負債合計	2,394,161	2,930,245

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	352,328	352,328
利益剰余金	1,563,466	1,621,619
自己株式	△363,987	△638,065
株主資本合計	4,467,122	4,251,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,866	80,388
その他の包括利益累計額合計	94,866	80,388
新株予約権	4,800	400
純資産合計	4,566,788	4,331,985
負債純資産合計	6,960,949	7,262,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,796,417	3,887,692
売上原価	751,812	917,288
売上総利益	3,044,604	2,970,404
販売費及び一般管理費	2,402,172	2,514,837
営業利益	642,431	455,566
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,188	4,550
未払配当金除斥益	551	753
受取保証料	—	3,408
その他	432	5,810
営業外収益合計	5,171	14,522
営業外費用		
支払利息	4,808	3,617
支払保証料	2,263	2,138
支払手数料	12,093	11,735
その他	1,310	595
営業外費用合計	20,475	18,086
経常利益	627,128	452,002
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51,208
新株予約権戻入益	—	4,800
特別利益合計	—	56,008
特別損失		
店舗閉鎖損失	32,143	9,779
特別損失合計	32,143	9,779
税金等調整前四半期純利益	594,985	498,231
法人税、住民税及び事業税	205,194	184,814
法人税等調整額	13,682	△18,277
法人税等合計	218,877	166,536
四半期純利益	376,107	331,694
親会社株主に帰属する四半期純利益	376,107	331,694

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	376,107	331,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,196	△14,478
その他の包括利益合計	23,196	△14,478
四半期包括利益	399,303	317,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399,303	317,216
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年10月1日 至平成28年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年10月1日 至平成29年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	594,985	498,231
減価償却費	145,294	211,803
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△51,208
店舗閉鎖損失	32,143	9,779
繰延資産償却額	1,031	303
のれん償却額	13,369	—
代理店手数料戻入引当金の増減額（△は減少）	△41,589	1,452
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,052	26,050
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	5,591	7,780
受取利息及び受取配当金	△4,188	△4,550
支払利息	4,808	3,617
売上債権の増減額（△は増加）	720,942	△280
その他	△475,491	22,425
小計	994,843	725,404
利息及び配当金の受取額	4,188	4,550
利息の支払額	△4,809	△3,361
法人税等の支払額	△216,115	△85,780
訴訟関連損失の支払額	△97,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	681,107	640,813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,444	△55,275
無形固定資産の取得による支出	△142,043	△60,957
投資有価証券の取得による支出	△961	△1,031
投資有価証券の売却による収入	—	71,264
差入保証金の差入による支出	△17,946	△9,166
差入保証金の回収による収入	1,070	4,819
その他	△14,737	△6,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177,063	△57,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	300,000
短期借入金の返済による支出	—	△300,000
長期借入れによる収入	—	290,000
長期借入金の返済による支出	—	△12,590
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△349,364	△289,975
配当金の支払額	△246,767	△273,866
その他	△89,868	△72,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△786,000	△459,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	△278	△288
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△282,235	124,124
現金及び現金同等物の期首残高	1,664,506	1,044,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,382,271	1,169,061

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、「従業員持株会支援信託ESOP」制度の導入により、信託が当社株式を取得したこと等に伴い、自己株式が274,078千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は638,065千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年10月1日至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店事業	メディア事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,058,247	426,408	311,760	3,796,417	—	3,796,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	318,530	3,999	—	322,529	△322,529	—
計	3,376,778	430,408	311,760	4,118,946	△322,529	3,796,417
セグメント利益	480,087	103,312	57,832	641,231	1,200	642,431

(注) 1. セグメント利益の調整額1,200千円はセグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年10月1日至平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店事業	メディア事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,122,089	428,734	336,869	3,887,692	—	3,887,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	315,960	3,668	—	319,628	△319,628	—
計	3,438,049	432,403	336,869	4,207,321	△319,628	3,887,692
セグメント利益	280,088	107,451	66,826	454,366	1,200	455,566

(注) 1. セグメント利益の調整額1,200千円はセグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、従来「広告代理店事業」というセグメント名称で表記していた同事業について、より事業内容に即した「メディア事業」という名称に変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント名称で表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。